

平成23 年度地域自主戦略交付金に係る評価結果

熊本県

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	評価結果
1	<p>社会資本整備重点計画の中で、「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づき整備を行っている円滑化対策事業のうち、地方道の新設・改良等に伴い整備が必要となる、信号機、道路標識・標示の整備を行うことで円滑化を確保し、交通事故防止を図るもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信号機の新設～4か所（定周期式2、押ボタン式2）</li> <li>・ 信号灯器のLED化～18か所</li> <li>・ 信号機改良～10か所</li> <li>・ 信号柱移設～10本</li> <li>・ 道路標識～オーバーハング式28本、照明灯付横断歩道標識2本、路側標識475本</li> <li>・ 道路標示～横断歩道21km、実線16km、車線分離鋸併用標示1km</li> </ul>	H23	—	<p>交通安全施設として、供用を開始した熊本駅周辺の新設道路と、新設道路開通後に交通量が増加した交差点4か所に信号機を新設し、幹線道路の18か所の信号灯器をLED化により視認性を向上させ、更に、右折矢印信号機等の改良を実施した。</p> <p>また、道路標識はオーバーハング式28本、照明灯付横断歩道標識2本、路側標識475本を、道路標示では、横断歩道21km、実線16km、車線分離鋸併用標示1kmを整備して、それぞれ成果目標である道路の円滑化を確保し交差点における交通事故防止を図った。</p>
2	<p>工業高校の電気の学習で使用する高電圧実験装置を整備し、交流高電圧や衝撃高圧等に関する知識・技術を習得させることにより生徒の工夫創造の能力を養い、経済自立に貢献する有益な産業人を育成する。</p>	H23	—	<p>工業高校（1校）に高電圧実験装置及び周辺機器を整備したことにより、生徒に交流高電圧や衝撃高圧等に関する知識・技術を習得させることができるようになった。</p> <p>また、これにより生徒の工夫創造の能力を培うことができるようになった。</p>